

本会議のあらまし

平成18年 第2回定例会

平成18年第2回定例会が、3月3日から23日まで21日間の日程で開催されました。
一般会計等の暫定予算関係21議案を含む31議案と議員提出1議案が審議されました。

条例の制定と一部改正

条例に関しては8議案が審議されました。

市職員の給与に関する条例は、法律の改正に準ずる一部改正です。一般行政職員と市立病院医師、看護師等の給料表の見直しや昇給の規定が改められます。

長期継続契約を締結することができると定める条例は、契約内容をコンピュータやソフトウェアのリース、保守管理、庁舎、施設等の機械、設備の保守管理、庁舎、施設等の警備、清掃の業務委託、公用車とコピー等の事務機器のリース保守管理とし、契約期間は6年以内とするものです。
福祉医療費の支給に関する

改定後の介護保険料と対象人数（別表）

保険料段階	保険料(円/年)	対象者(人)
第1段階	21,200	163
第2段階	21,200	3,176
第3段階	31,800	3,233
第4段階	42,400	9,885
第5段階	53,000	2,482
第6段階	63,600	1,642
合計人数		20,581

る条例は、障害者自立支援法の施行に伴う一部改正です。医療費負担が5%から10%に増え、支給対象者の規定が変更となるため、条例改正が必要となったものです。渋川市では現在と同様の支給が受けられます。介護保険条例は制度改正及び6市町村の合併に伴い、新たに制定するものです。

税制改正による影響（別表）

保険料区分	対象者(人)
第2 4段階	194
第3 4段階	194
第3 5段階	755
第4 5段階	538

保険料（別表 参照）は、旧市町村と比較すると平均で27・25%の値上げとなります。保険料区分ごとの対象者数（同）や収納率、基金の取り崩しにより利用料値上げ幅を下げるべきなどの質疑が交わられました。収納率は合併前の旧渋川市で82・9%、基金は昨年10月の料金改正で利用料の補足給付が増えたため、取り崩すのは難しいという答弁がありました。

各会計暫定予算

項目	歳入予算額	歳出予算額
一般会計	76億8,240万円	99億6,673万円
国民健康保険(事業勘定)	9億3,647万円	19億9,665万円
国民健康保険(施設勘定)	2,253万円	4,106万円
老人保健	16億4,587万円	20億2,408万円
介護保険	12億 552万円	11億8,742万円
農産物直売事業	1,314万円	923万円
伊香保温泉観光施設事業	1,698万円	2,305万円
小野上温泉事業	2,785万円	3,356万円
交流促進センター事業	5,789万円	6,816万円
白井温泉こもちの湯事業	640万円	1,146万円
敷島温泉赤城の湯事業	5,480万円	8,148万円
北橋温泉ばんどうの湯事業	1,884万円	3,418万円
たちばなの郷城山事業	3,063万円	4,334万円
伊香保リンク管理運営事業	1,000万円	1,469万円
用地先行取得事業	3,203万円	3,203万円
小野上土地開発事業	2,534万円	2,534万円
下水道事業	1億1,863万円	1億5,115万円
農業集落排水事業	5,381万円	7,082万円
個別排水処理事業	360万円	260万円
簡易水道事業	2,974万円	3,461万円
合計	119億9,247万円	158億5,164万円
水道会計暫定予算		
収益的収入及び支出	3億5,837万円	4億1,239万円
資本的収入及び支出	-	2,499万円
病院会計暫定予算		
収益的収入及び支出	3億9,960万円	5億2,203万円
資本的収入及び支出	1,415万円	-

また、国の税制改正によって住民税非課税（1、3段階）から課税（4段階）となる対象者数も示されました（別表 参照）。採決では反対討論が行われ、賛成多数で原案可決となりました。

市立学校設置条例の改正は、赤城町の三原田、刀川、津久田、南雲の4幼稚園が閉園、統合し、新しく赤城幼稚園が開園されるための条例改正です。伊香保温泉バス案内所兼観光案内所の管理やバス会社の使用料を定めるものです。利用予定はタウンバス45本、路線バス67本、高速バス5本で、関越交通、群馬バス、群北第一交通、日本中央交通の4社です。建物面積は1階が屋外待合

所を含んで59・4㎡、2階が31・25㎡です。議会閉会後の3月下旬にオープンしました。



観光シーズンを待つバス案内所

特別会計暫定予算は、国民健康保険や、老人保健、介護保険等の制度による会計と温泉・観光施設等の会計が主なものです。また、企業会計として水道事業と、市立病院となった総合病院の事業会計です。

人事案件

固定資産評価員に市税務課長の勝田治男氏（阿久津）が選任されました。旧渋川市では税政課長が評価員に選任されていましたが、新市でも同様となります。

議員提出議案

議会最終日に議員の報酬

及び費用弁償等の特例に関する条例が8人の議員より提出されました。提案理由は、対等合併ということでは合併となったが、議員報酬に格差があるので、それを是正するためであり、内容は4月1日から議員報酬を改正するものです。議員報酬の月額総額から5%を減額し、議員数で割り、議長20%、副議長10%、委員長

5%の職責加算をするというものです。

この提案に対し、任意合併協議会の議員の定数に関する小委員会を検討し、法定協議会で全会一致により決めた、1年の在任特例、選挙区は全市域とする、報酬はそれぞれの議会のままとする、ということを守るべきなどの質疑・意見等が出され、2人の反対討論が行われました。採決では、

無記名投票と記名投票の表決要求書がそれぞれ提出されたことにより、採決の方法を決める投票が行われました。出席議員88名（議長は除く）で投票が行われ、

無記名投票に対して賛成27票、反対61票、記名投票に対して賛成57票、反対31票となり、記名投票での採決となりました。採決の結果は賛成20票、反対68票で、否決となりました。

各会計暫定予算

今議会の予算はすべての会計が暫定予算で、4月から6月の3カ月間の必要な経費を見込んだものです。新市長誕生後の6月議会に年間予算が提出されます。

一般会計暫定予算は、人件費等の経常経費が主で、歳入予算額76億8240万円、歳出予算額99億6673万円です。



市民会館での本会議風景

議案に賛成した議員（20人）

齋藤 忠則、	政行、	中澤	広行、	加藤	幸子
塩野 光弘、	猪俣 友子、	新保	雄、	田中	寛一
井上 団次、	埴田彦一郎、	須田	勝、	三田	正
阿久澤 暁、	望月 昭治、	下田	房雄、	長竹	峰義
小池 春雄、	中野 完治、	松井	常見、	飯塚	文二

議案に反対した議員（68人）

篠田 壽、	内海 文雄、	金子 渡、	佐藤甲子郎
荒木良太郎、	石原 弘、	金子 富房、	須田 愛作
萩原 傳、	根井 環、	入内島英明、	林 忠男
真下 裕、	平方 嗣世、	後藤 清一、	山 雄平
田子 正幸、	南雲二三四、	町田 勝茂、	藤井 彰
岡島 晴海、	飯塚 清志、	茂木 弘伸、	村上 義幸
佐藤富士雄、	飯塚 久夫、	角田 早苗、	鳥山 昌彦
今井 五郎、	奈良 征状、	大島 勝昭、	本山 隆之
小林 雅夫、	中沢 義美、	後藤 肇、	飯塚貴美夫
藤川 鉄男、	狩野元之助、	堀口 巖、	高橋 敬
都丸 均、	登坂 藤夫、	佐藤 兵造、	横山 鉄男
都丸 政行、	吉田 利治、	新井 晟久、	板倉 和男
澤田 寛、	吉沢 稔夫、	後藤 基次、	船曳 道代
田子 忠重、	楯 信一、	小竹 恒夫、	箱田 昭二
角田 皇、	石倉 一夫、	岩崎 幸代、	狩野 富雄
南雲 鋭一、	木暮 淑之、	橋 寿男、	齊藤 茂夫
角田 雅保、	平方 由衛、	角田 一民、	狩野 義雄

欠席した議員（2人）

角田 喜和、狩野 友衛